

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
配当金受領株主確定日	毎年3月31日(期末配当)、毎年9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)  特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。 フリーダイヤル 0120-244-479 (本店証券代行部) フリーダイヤル 0120-684-479 (大阪証券代行部) <URL> <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>
公告方法	当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。
単元株式数	100株

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

## ●ホームページ紹介

当社の詳しい情報は  
ホームページでご覧いただけます。



<http://www.cocokarafine.co.jp/>



●IRページでは株主・投資家の  
皆様向けの情報として、決算発表資料等を適時掲載しております。

<http://www.cocokarafine.co.jp/ir/index.html>

## Corporate Principle

人々のココロとカラダの健康を追求し、  
地域社会に貢献します。

## 第4期 中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで



代表取締役副社長 石橋 一郎  
代表取締役社長 塚本 厚志  
代表取締役副社長 上田 清

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

株式会社アライドハーツ・ホールディングスとの経営統合による新生ココカラファインの誕生から1年が経過しました。当社グループは現在、5ヵ年にわたる「ココカラファイン中期経営戦略 CF5000」を通じて、連結売上高5,000億円という規模の確保とともに、「おもてなしNo.1企業」としての質的向上とコーポレートブランドの確立を目指しています。当期はその初年度として、順調な成果を上げております。

今後とも当社グループ事業へのご理解とともに、一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

## トップメッセージ ● Top Message

震災による影響の中、  
全般的には計画以上の営業成果を上げながらも、  
変動のある半年間となりました。

当上半期の営業状況は、昨年10月の株式会社アライドハーツ・ホールディングスとの経営統合による増収効果もあり、全般的には計画以上の営業成果を上げました。

中でも調剤事業は、引き続き順調に拡大しています。同部門の売上高は前年同期比166.7%の拡大を示し、

全体の10.5%を占めるに至りました。

また、グループ全体で取り組んだ「おもてなし重点品」による商品施策が業績に寄与しました。これは1,000店を超える当社グループ全店舗で、お客様へのおすすめ商材を集中的にプロモーションしていくものです。7月には、鹿児島産の黒酢飲料を対象商品として、全店舗一斉にキャンペーン展開した結果、1日に1万本を売り上げるなど、大きな成功を収めました。この商品施策を通じて、「コミュニティドラッグストア」としてのハイタッチな販売手法を確立しつつ、お客様

## 「おもてなしNo.1企業」としての質的向上と コーポレートブランドの確立を目指します。

目線で店舗運営のベクトルを一致させ、グループ経営の強固な基盤づくりに結び付けていく考えです。

「おもてなし重点品」の全店舗販売は、その後も10月に単一サプリメント飲料を1日に10万本を売り上げており、今後も継続販売に注力していきます。

以上の結果、当上半期の連結業績は、売上高160,432百万円(前年同期比60.1%増)、営業利益4,034百万円(同129.7%増)、経常利益6,428百万円(同77.0%増)、四半期純利益3,687百万円(同128.0%増)となりました。また、当上半期末現在のグループ店舗数は、1,095店舗(出店30店舗、退店19店舗)となりました。

M&Aにより北海道エリアに進出。  
地域社会に根差した「コミュニティドラッグストア」を  
全国に拡げていきます。

当社は、北海道でドラッグストア・調剤をチェーン展開する株式会社スズラン薬局を10月1日付で子会社化しました。また8月16日には、旭川市で調剤薬局を経営する有限会社メディカルインデックスの株式を取得し、子会社化しました。これらのM&Aにより、当社は北海道エリアへの進出を果たしました。

北海道のドラッグストア・調剤市場は、約5,000億円

代表取締役社長  
塚本 厚志





規模とされています。降雪の多い寒冷地であり、在宅医療・在宅調剤に対する地域の皆様の期待も高まっています。スズラン薬局は、売上高における調剤比率が物販よりも高く、同社およびメディカルインデックスが持つ調剤薬局事業の基盤を活かしつつ、当社グループの物販機能を導入することで、地域社会に貢献する「コミュニティドラッグストア」を北海道でも展開していけると考えています。そして将来的には、在宅調剤も手掛けていきます。

今回のエリア拡大により、当社グループの出店地域は北海道から沖縄までとなりました。季節ごとの変化や消費者ニーズの傾向を捉え、ナレッジを全社共有する上で、国内全域をカバーする店舗ネットワークは、お客様により多くのサービスが提供できるものと確信しております。

### 中期経営戦略の初年度として、物流の最適化に着手。グループMDの設定・構築は概ね完了した状況です。

現在、当期から5か年にわたる「ココカラファイン中期経営戦略 CF5000」を推進中です。「CF5000」では、最終年度の2016年3月期における「連結売上高5,000億円」「連結経常利益200億円」「調剤売上比率15%」の達成を目標に掲げています。

当社グループは「CF5000」を通じて、コーポレートスローガン「おもてなしNo.1企業になる」を実現すべく、日本一質の高い企業にふさわしい体質を構築するとともに、コーポレートブランドの確立を目指しています。商品、接遇、店舗作りなど、さまざまな角度から質的向上を図りながら、お客様に新しく必要とされる潜在需要を呼び起こしていくことが、コーポレートブランドの確立につながってくると思います。

「CF5000」初年度の当期は、「物流システムの最適化」に向けたプロジェクトを立ち上げました。第1段階として、中部地区に物流センターを2012年度中に開設し、エリアの商品配送体制を一元化していく計画で、当期はそのための準備を進めます。また、グループシステムの最適化を図るためのプロジェクトも順調に進んでおり、基幹システムの統一のみならず、今後の事業規模・業容拡大等あらゆる事態に対応できるようなシステムの構築を進めております。さらに「グループマーチャндаイジング(商品政策)の設定・構築」も当期の重点プロジェクトですが、これについては経営統合後1年を経て、現在までに概ね完了した状況です。

### ● Top Message

### 全国展開を踏まえ、お客様と店舗とココカラファインを結ぶコミュニケーションづくりを視野に入れていきます。

下半期については、経営統合による効果が当初の想定よりも前倒しの形で現れていることから、引き続き好調を維持できるものと期待しています。しかし、第3四半期以降は、風邪の流行や花粉の飛散など、業績に大きな影響を与える変動要素が多いため、通期の連結業績については今のところ前期決算発表時の予想値を継続し、売上高3,191億円(前期比24.3%増)、営業利益77億円(同20.8%増)、経常利益118億円(同13.5%増)、当期純利益63億円(同6.6%増)を見込んでいます。

なお、この度の中間配当は、1株当たり25円とさせていただきます。期末配当につきましても同額を予定していますが、今後は業績の向上を反映する形で、さらなる利益還元の拡充に努めてまいります。

北海道を含む全国展開を果たしたことにより、セルフ Medikation や疾病予防、健康維持に関する質の高い提案を、日本中どの店舗においても提供できる体制が整ってきました。グループ各社が発行するサービスカードの会員数も合計700万人を超える規模となっています。これからは、地域社会に根差した各社のブランディングを保持しつつ、お客様と店舗とココカラファインを結ぶコミュニケーション作りを視野に入れていきます。

株主の皆様におかれましては、当社グループ店舗へのご愛顧とともに、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 連結財務ハイライト

(単位：百万円)



## 北海道に初めて進出

### ●セイジョー北海道初出店

当社の子会社である株式会社セイジョーは、6月24日に北海道旭川市にココカラファイングループとして初めて北海道に出店いたしました。この出店により北は北海道から南は沖縄までグループの出店エリアは35都道府県となりました。北海道のお客様にも“おもてなし”を提供し、地域の皆様に愛される店舗運営に励んでおります。

#### 店舗概要

店名	セイジョーフィール旭川店
所在地	旭川市一条八丁目108番地 フィール旭川内
	1F 化粧品専門店
	B1F ドラッグストア

### ●有限会社メディカルインデックスの株式取得

当社は、8月16日に北海道旭川市で調剤薬局を営んでいる有限会社メディカルインデックスの株式の50%を取得し、子会社化いたしました。メディカルインデックス社を子会社とすることで北海道エリアにおける地域医療への貢献をさらに進めてまいります。

#### 会社概要

商号	有限会社メディカルインデックス
設立	1996年8月22日
所在地	北海道旭川市神楽岡七条五丁目6番2号
資本金	500万円
店舗数	3店舗
売上	539百万円
事業内容	調剤薬局事業

### ●株式会社スズラン薬局の株式取得

当社は、10月1日に小樽・札幌・函館を中心に北海道内に23店舗のドラッグストア・調剤薬局をチェーン展開しております株式会社スズラン薬局の全株式を取得し子会社といたしました。

同社を新規エリアの営業基盤として、事業展開を推進することにより当社の経営理念である「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献します」の実現に向け邁進してまいります。



#### 会社概要

商号	株式会社スズラン薬局
設立	1964年11月11日
所在地	北海道小樽市築港11番1号
資本金	5,000万円
店舗数	23店舗
売上	5,191百万円
事業内容	ドラッグストア・調剤薬局事業



## 人気ブランド『VIVCO(ヴィヴコ)』 新シリーズ「VIVCOリップバーム」を発売

当社は、年間10万本以上販売しているヒットブランド『VIVCO(ヴィヴコ)』からS/O高浸透処方\*1ヒアルロン酸\*2とエコサート認証\*3の安全性の高いオーガニック植物オイルを配合したリップ美容液「VIVCOリップバーム」を9月1日に発売開始しました。

人の唇は角質層が非常に薄いため保水能力が極めて低く、また皮脂腺や汗腺がないため天然のうるおい膜をつくることができず、さらにメラニン色素が少ないことから紫外線の影響を受けやすい部分でもあります。そのため特に秋から冬にかけての唇の状態は、乾燥しやすく、荒れやすい環境にあります。

当商品はそのような環境を考慮し、S/O高浸透処方\*1ヒアルロン酸\*2とメドウフォームオイル誘導体が“ハリ”と“うるおい”をしっかりとキープするよう保湿性を高め、また肌への優しさを追求するためオーガニック原料にこだわり、ノンパラベン、ノンアルコール、鉱物油無使用、無香料であります。さらにアルガンオイル、五葉松オイル、シアバター、ビタミンE(抗酸化剤)が冷たい空気や乾燥、紫外線から唇を守り、キメを整えることにより、明るくなめらかな唇へと導きます。まさにお客様のニーズをしっかりと反映させたドラッグストアならではの商品となっております。



※1 親水性の成分にS/Oナノコーティングを施し、オイル中に分散させ、オイルとともに成分を角層の奥深くまで届けるための技術。

※2 肌にうるおいを与え、乾燥を防ぐ保湿成分。

※3 世界的認定機関の認証原料(シアバター、アルガンオイル、五葉松オイル)。

## 東日本大震災 被災地・被災者支援活動について

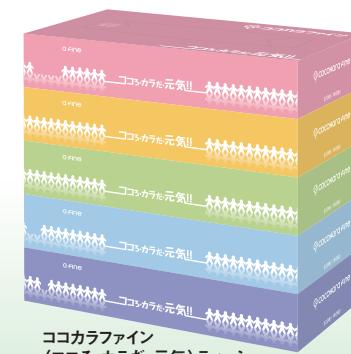
当社は、王子ネピア株式会社との共同企画商品として1パック(160組×5個)販売するごとに売り上げの一部(10円)を日本赤十字社へ寄付させていただくパルプ100%のティッシュ「ココカラファイン(ココロ・カラダ・元気)ティッシュ」を7月25日より販売してまいりました。皆様にご協力いただきました結果、以下の金額を寄付させていただくことができました。

●販売実績：340,730セット(7月25日～9月30日)

●寄付金額：3,407,300円

また、店頭にて設置いたしました募金箱による募金活動は、皆様のご厚意により、**41,133,870円**(8月末日で終了)を寄付させていただきました。

被災地の一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げるとともに、今後も継続して、できる限りの支援をさせていただくよう努めてまいります。

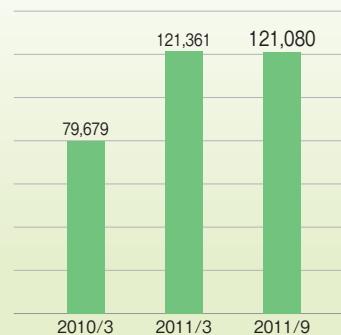


ココカラファイン  
(ココロ・カラダ・元気)ティッシュ

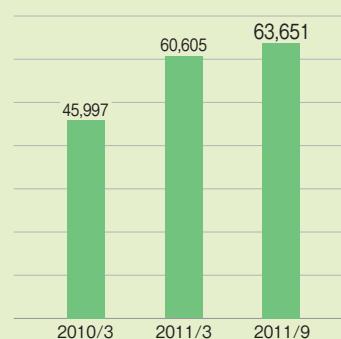
# 連結財務データ

● Consolidated Financial Data

■ 総資産 (単位: 百万円)



■ 純資産 (単位: 百万円)



● 自己資本比率 (単位: %)



## 連結貸借対照表(要約)

(単位: 百万円)

科目	前期 (2011年3月31日現在)	当第2四半期(累計) (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
流動資産	66,819	66,076
固定資産	54,541	55,003
流動負債	53,658	50,967
固定負債	7,097	6,461
総資産	121,361	121,080
純資産	60,605	63,651

## 連結損益計算書(要約)

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期(累計) (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	当第2四半期(累計) (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
売上高	100,177	160,432
売上総利益	24,427	38,943
販売費及び一般管理費	22,671	34,908
営業利益	1,756	4,034
経常利益	3,632	6,428
四半期純利益	1,617	3,687
包括利益	1,616	3,681

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期(累計) (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	当第2四半期(累計) (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,953	2,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,161	△2,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,453	△2,730

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

さらに詳しいIR情報は当社ホームページでご覧いただけます。IRサイト アドレス: <http://www.cocokarafine.co.jp/ir/>

### ① 資産合計

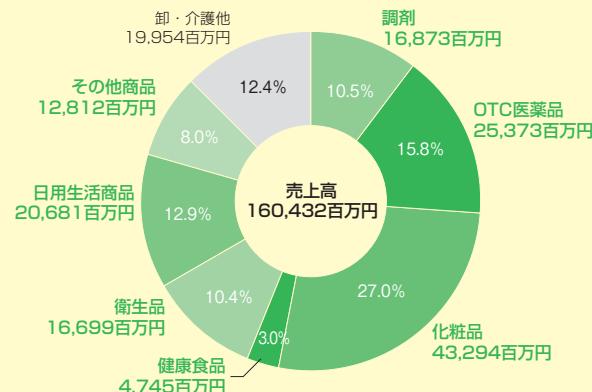
当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、121,080百万円となり、前連結会計年度末に比べて281百万円減少いたしました。主な要因は、売掛金464百万円の増加、たな卸資産1,429百万円の増加、有形固定資産567百万円の増加等があったものの、現金及び預金2,899百万円の減少等によるものであります。

### ② 負債合計

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、57,428百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,327百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金1,800百万円の減少、未払法人税等769百万円の減少、負ののれん583百万円の減少等によるものであります。

### ③ 売上高

ドラッグ・調剤事業は、関東地方を中心とした震災関連の買い置きの需要などによる反動が若干残りましたものの、合併による増収効果や、好調な調剤事業などにより140,478百万円(65%増)となりました。また、卸・介護事業につきましては、卸先の拡大および介護事業におけるドラッグ・調剤事業との連携強化により19,954百万円(32.8%増)となりました。



### ④ キャッシュ・フローの状況

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、2,226百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が6,113百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費及びその他の償却費の計上が1,581百万円あったものの、減少要因として非資金費用であるのれん及び負ののれん償却費の計上が502百万円、売上債権の増加額が464百万円、たな卸資産の増加額が1,429百万円、法人税等の支払額が3,214百万円あったこと等によるものであります。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用された資金は、2,493百万円となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入が301百万円あったものの、主として新規出店等による有形固定資産の取得による支出が1,765百万円、無形固定資産の取得による支出が238百万円、敷金及び保証金の差入による支出が498百万円あったこと等によるものであります。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用された資金は、2,730百万円となりました。これは主として、短期借入金の返済による支出が1,800百万円、長期借入金の返済による支出が135百万円、配当金の支払額が634百万円あったこと等によるものであります。

# 会社概要 / 株式情報 ● Corporate Data / Stock Information

## 会社概要 (2011年10月1日現在)

名称	株式会社ココカラファイン
事業内容	ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理・仕入ならびにそれに付随する業務
本社所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3丁目17番6号 イノテックビル
設立日	2008年4月1日
資本金	10億円
グループ会社	<b>株式会社セイジョー</b> 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3丁目17番6号 イノテックビル <b>セガミメディクス株式会社</b> 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目7番30号 <b>株式会社ジップドラッグ</b> 〒452-0808 名古屋市中区宝地町340番地 <b>株式会社ライフオート</b> 〒650-0016 神戸市中央区橋通4丁目2番13号 <b>株式会社スズラン薬局</b> 〒047-0008 北海道小樽市築港11番1号 ウイングベイ小樽

## 役員 (2011年10月1日現在)

取締役最高顧問	瀬上 修	常勤監査役(社外)	関口 要蔵
取締役会長	久松 正志	監査役(社外)	小菅 泉
代表取締役社長	塚本 厚志	監査役(社外)	亀沖 正典
代表取締役副社長	石橋 一郎		
代表取締役副社長	上田 清		
取締役	齊藤 正人		
取締役(社外)	神本 満男		
取締役(社外)	北山 真		

## 株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,472,485株
株主数	7,515名

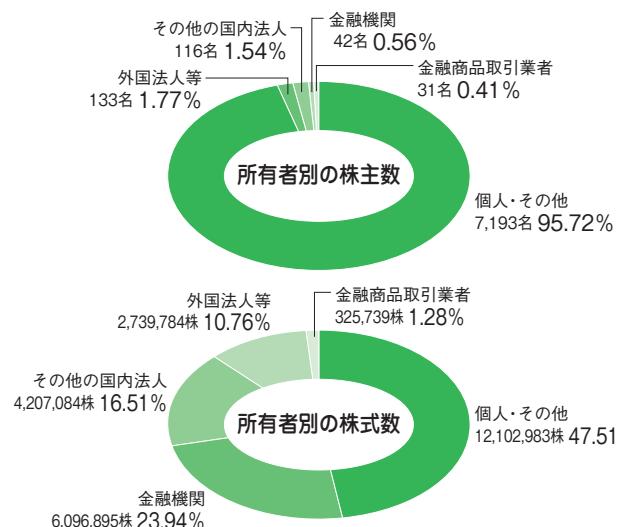
(注)株主数・株式数には自己株式(1名/53,120株)を含んでおります。

### ●大株主

大株主名	持株数(株)	持株比率(%)
齊藤 正人	1,759,248	6.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(管理信託口)	1,683,240	6.62
セガミ不動産株式会社	1,135,920	4.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	780,800	3.07
石橋 一郎	762,600	3.00
ココカラファイン従業員持株会	734,800	2.89
第一三共ヘルスケア株式会社	605,017	2.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	520,400	2.05
株式会社三菱東京UFJ銀行	446,848	1.76
ザバンク オブ ニューヨークジャスティック トリートリー アカunt	414,700	1.63

(注)持株比率は自己株式(53,120株)を控除して計算しております。

### ●株式分布状況



(注)株主数・株式数には自己株式(1名/53,120株)を含んでおります。

# 店舗のご案内 ● Store Information

北海道および関東以西の幅広い地域をカバーし、それぞれの地域特性に応じた店舗展開を推進しております。今後も、ドラッグストアや調剤専門店を中心とした出店を行うと同時に、M&Aやアライアンスを活用し、積極的にエリア戦略を進めてまいります。

	セイジョー	322店
	セガミメディクス	380店
	ジップドラッグ	221店
	ライフオート	172店
	スズラン薬局	23店

グループ店舗数合計 **1,118店**  
(2011年10月1日現在)

